

令和5年度

出前講義



Frontier

宇部フロンティア大学

心理学部 / 看護学部 / 大学院人間科学研究科

宇部フロンティア大学短期大学部

保育学科 / 食物栄養学科

出前講義

宇部フロンティア大学・宇部フロンティア大学短期大学部では、本学教員が高等学校等に出向いていく「出前講義」を実施しています。高校生の皆さんに、大学講義の雰囲気を感じてもらうとともに、学問への関心や大学への進学意欲を高めていただきたいと考えています。

2023年度も、ご要望のある高校様向けに出前講義を実施いたします。ここ数年、SDGsの目標に関連する講義の要望が多かったことから、本学においても対応可能な講義を準備しておりますので、詳しくは「テーマ一覧」をご確認ください。

この活動が高校生の皆さんへの学習の動機づけや進路選択・指導に役立つことを願っております。

《 目 次 》

講義内容

〈大学 心理学部〉	-----	3
A: 心理学科		
〈大学 看護学部〉	-----	6
B: 看護学科		
〈短期大学部 保育学科〉	-----	10
C: 保育学科		
〈短期大学部 食物栄養学科〉	-----	13
D: 食物栄養学科		

手続きの方法	-----	15
--------	-------	----

出前講義申込用紙

派遣依頼様式例

SDGs17の目標に対応した講義			
持続可能な開発目標			講義番号
目標2	飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	D-3
目標3	すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	A-18 A-19 B-6 B-7 B-11 B-14 B-15 B-16 B-19 B-20 C-6 C-8 C-9 C-12 D-3
目標4	質の高い教育をみんなに	全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	A-11 A-12 B-6 B-9 B-10 C-1 C-2 C-9 C-10 C-12 C-13
目標5	ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女児の能力強化を行う	A-18 A-20 B-8 B-13 B-25
目標6	安全な水とトイレを世界中に	全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	D-3
目標10	人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の不平等を是正する	B-24 C-2
目標11	住み続けられるまちづくりを	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する	B-23
目標15	陸の豊かさを守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	D-3
目標16	平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	C-1
目標17	パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	B-22

宇部フロンティア大学 出前講義 テーマ一覧

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
A-1	心理	教授 高田 晃	日常生活のなかでみる心理学理論	生徒	
			心理学の理論は日常生活の中で数多く活用されています。それらの理論についていくつかを取り上げ説明します。		
A-2		教授 楯本 知子	1. アサーションの達人になる！	生徒	
			アサーション(assertion)は、自分も相手も大切にしたい自己表現で、スキルだけでなく考え方も含む広い概念です。アサーションを知り練習して、アサーションの達人になって、よりよい対人関係を築いていきませんか。		
A-3			2. なぜ女性と男性では友人関係の取り方が違うの？！	生徒	
			日常生活で見かけたことがありますか。いつも同じ相手と行動をともにして、トイレに行くときも一緒に仲よし女子二人組。顔ぶれの決まった4～5人のグループで行動をともにする男子たち。女性と男性では、友人関係の取り方が異なるようです。その理由について、心理学が文化的自己観の観点からお答えします。		
A-4		教授 海野 博	人々の心理と経営	生徒	
			小売店の売り場では人々の心理をうまく利用できているかどうかで、売り上げが増加、または減少します。ここではその実例を紹介しながら心理学のおもしろさや有益性についてお話しします。		
A-5		教授 高山 智行	1.知覚と知識	生徒	
			「モノが見える」のは「そこにモノがあるから」でしょうか？「そこにはないモノ」が見えたり、「あるモノとは違ったモノ」が見えるのは何故でしょうか？ さまざまな事例を紹介しながら、対象や事象の知覚の成立には、その場面にある外的な情報だけでなく、自らの過去経験や知識などの内的な情報が大きく関わっていることを解説します。		
A-6			2.感性とビジネス	生徒	
			ビジネスが消費者の感性に依存する時代になりました。メーカーや販売者は消費者の感性に訴えるコマーシャルコンテンツを用いて販売促進をはかっていますし、商品開発自体が消費者の感性を重視するようになっていきます。ビジネス場面においてヒトの感性がどのように利用されているか、さまざまな事例を紹介します。		
A-7		教授 大石 英史	ストレスと上手に付き合おう	生徒	
			高校時代は青年期の真只中に位置し、ストレスがかかりやすい時期です。しかし、同じ出来事に対しても人によってストレスのかかり方は違います。ストレスのメカニズムについて解説し、ストレスと自分なりに付き合っていく方法について学びます。		
A-8		教授 内海 俊祐	英語リスニング問題の解き方	生徒	
			英検やTOEICのリスニングの問題はどのようにして解けばいいのでしょうか？ ① 英語の音に慣れる方法 ② リスニング問題を効果的に解く方法 以上を、TOEIC 関連英語科目担当者が解説します。		

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
A-9	心理	准教授 三島 瑞穂	1. 心理学を受験に活かす	生徒	
			心理学の様々な技術は、個性に合わせた学習方法の発見に役立ちます。また、脳の性質を知っておくと効率的に学習することができます。		
A-10			2. アートセラピーでコミュニケーション力を高める	生徒	
			クレヨンを用いたワークで、自分の対人関係の癖を知ったり、苦手な人とのコミュニケーションを楽しみます。		
A-11		准教授 榎本 俊哉	1. 私たちの生活と心理学	生徒	目標4
			「心理学」は私たちの生活の中にあります。この授業では、みなさんの生活とのつながりが見えてくるように、いくつかの心理学の理論や視点を紹介していきます。心理学を知ることで、世界の見え方が変わる人がいるかもしれません。		
A-12			2. 自分の育て方を考える	生徒	目標4
			「何のために学ぶの?」「人生で学ぶことの意味って何?」というような疑問を感じたことがある人は多いのではないかと思います。この授業ではこの疑問について、心理学の視点からの「出会い」をキーワードにして、みなさんと一緒に考えます。		
A-13		講師 小山 典子	自己理解と自己表現について学ぶー「心の窓」の開き方ー	生徒	
			人と人がわかるときの大切なポイントの1つは、互いにどれほど「自分の心の窓」を開きあっているかということです。人間関係を深めるためには、「心の窓」を開くという適切な自己開示やフィードバックが必要です。自己理解・他者理解について、ワークしながら体験的に考えていきます。		
A-14		講師 森本 裕子	1.人間の集団とは？あなたは周りに影響を「受けすぎて」いる	生徒	
			人間は集団生活をする動物です。さて、その特徴はどのようなものでしょうか？人間の行動は、一人の時と集団の時で大きく違います。社会心理学という分野では、人間の行動が、時には衝撃的なほどに、周りから影響されてしまうということを明らかにしてきました。この講義では、そのエッセンスをお伝えします。		
A-15			2.日本文化は日本人の心にどんな影響を与えているの？	生徒	
			文化によって、人のあり方はちがいます。それは「〇〇人の血が流れている」……からではないのです。生まれてからずっとある文化の中で生活していく中で、私たちは自然と文化的なものの見方を身に着けていきます。どうやって身につけるのか？日本文化における見方ってどういうものなのか？主に北米文化と比較しながらお話しします。		
A-16			3.「周りの世界を感じる」こと、そしてそれが「わかる」こと	生徒	
			私たちは、世界をあるがままに見たり聞いたりしているわけではありません。周りの情報を、ときには無意識に、ときには意識的に取捨選択しながら、自分が処理すべき情報だけに焦点を当てているのです。そうしたところの仕組みを、「知覚」と言います。 ところが、なにかを知覚できることと、それを「わかる」こととの間には、またひとつ大きな違いがあるのです。私たちはどうやって世界を感じ、理解しているのでしょうか。認知心理学という分野でわかってきたことのほんの一部をご紹介します。		
A-17			4.記憶の仕組み	生徒	
			人間の記憶システム。そんなもののことを考えたこともない人がほとんどです。しかし心理学では、そんなものが長く熱心に研究されてきています。人間の記憶ってどんなふうになっているの？うまく記憶するにはどうしたらいいの？そんなことをお話しします。もしかしたら受験にも役に立つかもしれませんね。		

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
A-18	心理	講師 木元 卓也	1.DV(ドメスティック/バイオレンス)被害による心理的影響について	生徒	目標3 目標5
			最近、恋人間や夫婦間において暴力が多くみられるようになっており、暴力の影響は自身だけでなく、周囲の家族に深刻な影響を及ぼすことが分かってきました。DV(ドメスティック/バイオレンス)被害による心理的影響について、詳細に説明します。		
A-19			2.「暴言も立派な暴力です！」 ～ひとりで抱えずみんなで考えるこころの健康～	生徒	目標3
			スマートフォンが急速に普及し、SNSやネットでの書き込み内容のモラルが問われています。そこで本講義では、言葉の暴力による心身のダメージや怒りのコントロール方法、ストレスの正しい対処法について考えていきます。		
A-20			3.「ジェンダー平等を実現しよう！」 ～パートナーと折り合うために必要な心理学～	生徒	目標5
			多様性が問われる現代において、ひとり一人が抱えている偏見に気付き、周囲の人々と適度な距離間でコミュニケーションを取っていかなければなりません。そこで本講義では、パートナーへの暴力が及ぼす影響や日本の今までの家族のあり方について触れ、パートナーと折り合うために必要なことを考えていきます。		

宇部フロンティア大学 出前講義 テーマ一覧

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
B-1	看護	教授 長坂 祐二	生活習慣を変えるコツ	生徒	
			日本人の主要な死因であるがんと動脈硬化症の発症と進展には生活習慣が深く関わっています。健康長寿を実現するためには、望ましい生活習慣を身につける必要がありますが、長年染みついた生活習慣を変えることは困難です。「わかっちゃいるけど、やめられない」から抜け出し、誰もが良い生活習慣を継続するためのコツを会得する方法について考えます。		
B-2		教授 三輪 直之	「年をとる」ということ	生徒	
			高齢期はだれにでもやってくるものですが、若い時期にはそれほど強く意識されるものではありません。年を重ね、高齢期に入ること、生活などはどのように変化し、またそれはどのような理由で変化するのかをわかりやすくお話し、高齢者理解を深めます。		
B-3		教授 佐藤 美幸	1. こころの健康について考えよう	生徒	
			精神障害は身近な問題でありながら、一般にはなかなか理解してもらえず、偏見や差別が根強く残っています。精神障害とはどんな障害なのか、精神障害をもつ人はどのような人なのか、こころをケアすること、自分自身のこころの健康についてわかりやすく解説します。また、依存症、うつ病など特定の精神疾患とその対応についてのテーマでも講義可能です。		
B-4			2. コミュニケーション技術を磨こう	生徒	
			看護職の大切な技能の一つにコミュニケーション能力があります。日常生活において、あるいは仕事において、コミュニケーションを円滑に進めていくための知識と技術を伝授します。		
B-5			3. とっても怖い依存症	生徒	
			近年薬物乱用の低年齢化が社会問題になってきております。友だちに誘われたから、何となく興味があつてなど軽い気持ちで薬物を使用しているとそれが習慣化し、自分の力ではやめられなくなります(薬物依存)。薬物依存のゲートウェイドラッグとしてのアルコール、たばこを含めて有害作用物質使用の怖さを伝えます。		
B-6		教授 稲垣 順子	がん患者の心理と援助 あなたにできること	生徒	目標3 目標4
			2021年の厚生労働省のデータでは、生涯でがんで死亡する確率は、男性26.2%(4人に1人)、女性17.7%(6人に1人)となっています。あなたの周りでもがんを患っておられる方は多いのではないのでしょうか。医療専門職でなくても、私達にもできる援助があります。この講義では、がんを患っている人に対してどのようなことができるのか、一緒に考えていきたいと思います。		
B-7		教授 新開 奏恵	ケガの手当て	生徒	目標3
			子どもの日常生活におけるケガの予防について考えたり、簡単な手当てについてお伝えいたします。危険予測やけが防止のための生活習慣作りや環境管理など、日常生活を振り返りながら考えてみたいと思います。		

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
B-8	看護	教授 安成 智子	女性の健康	生徒	目標5
			思春期に大きく変わる私たちのからだ。大人に近づくにつれて、からだにも心にもこの時期特有の変化や現象が起こってきます。 心配なくていいこと、ちょっと気にしておいてほしいこと、将来のためにもしっかり気を付けてほしいこと。今のあなたに知っておいてほしい、今日から役立つ知識をわかりやすくお話します。		
B-9		教授 白石 義孝	1.偏差値のカラクリと統計のウソ データの読解力を身に付けよう	生徒	目標4
			高校生のみなさんが進学先の大学などを選ぶときの判断材料として「偏差値」があります。しかし、偏差値は母集団の属性によって大きく変化しますし、意図的に操作することも可能なため、絶対的に正しいものではないのです。この講義では大学入学共通テストで求められるレベルの、データの読解力を演習問題を通じて解説し、統計にダマされないための思考訓練を行います。		
B-10			2.進学校の落ちこぼれ その傾向と対策	生徒	目標4
			自称他称を問わず進学校には地域の中学校から優秀な生徒が集まります。しかし、入学後半年もしないうちに落ちこぼれていく人も少なくありません。そもそも基礎学力はあるはずなのになぜ落ちこぼれてしまうのでしょうか？ 私自身の高校時代に落ちこぼれてから立て直した経験や教員養成の仕事を通じてわかってきた、落ちこぼれる原因と再起のための対策について具体例を交えてお話します。		
B-11		准教授 清水 佑子	家で病気の人を見ていくには	生徒	目標3
			現在、日本は超高齢社会になっています。そのため、何かの病気を持ちながらも、家で暮らしていかなければならない人もたくさんいらっしゃいます。そのような人を助ける制度や、申し込みの方法を知っていますか？いろいろな制度を使って、無理のない生活をしていきましょう！		
B-12		准教授 福岡 泰子	脈から知る身体	生徒	
			看護師の重要で基本的な仕事の一つにバイタルサインの観察があります。これは「脈拍」「呼吸」「体温」「血圧」「意識レベル」を基本とした生命徴候のことを指します。この講義ではこの中でも脈拍測定を取り上げ、そこから実際に行いながら、自分の身体のことを知っていくような授業を行います。		
B-13		准教授 金川 真理	1. 自分の性について考えてみよう	生徒	目標5
			1)望まない妊娠や性被害について一緒に考え、今日から実践できる自分の身を守る方法について一緒に探してみましょう。 2)「LGBT」または「SOGI」という言葉を聞いたことがありますか？性的少数者（セクシャルマイノリティ）を表す言葉の一つとして使われることがあります。この機会に多様な性や自分の性について一緒に考えてみましょう。		
B-14			2. いのちについて考えてみよう	生徒	目標3
			1)男女の体の違いやいのちの誕生の視点からいのちについて一緒に考えてみましょう。 2)ダイバーシティ(多様性)という言葉を知っていますか？集団において多種多様な人が集まった状態のことです。この多様性の視点からいじめや自殺について一緒に考えてみましょう。		

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
B-15	看護	講師 礒村 由美	1.療養生活を支える看護の技術	生徒	目標3
			病気や障害により日常生活に支障を生じるようになった患者さんに対する、看護の方法や技術について説明します。1つの看護援助の中には、さまざまな目的や方法があったり、科学に基づいた技術、対象に応じて工夫された技術があります。実際に患者さんの療養生活を支える看護の技術についてお伝えします。		
B-16			2.患者本人の意思を尊重する意思決定支援	生徒	目標3
			医療や看護の実践において、患者さん本人の意思を尊重することは非常に重要です。特に、意思表示が困難な状態にある患者さんの意思を尊重することは重要であり、かつ、非常に難しいことでもあります。意思決定のプロセスやアドバンス・ケア・プランニング(ACP)などから、その方法について考えます。		
B-17		講師 柿並 洋子	今よりうまくできるには・・・	生徒	
			SST(生活技能訓練)とは対人関係において「ものの見方と行動のとり方」を学習していく方法です。精神科リハビリテーション領域でのSSTについて、導入部分として大切なウォーミングアップを実際に体験しながら、「できないところではなく、今できていることをみる」視点の大切さを一緒に考えてみませんか。		
B-18		講師 金子 真弓	看護と観察	生徒	
			一般社会において、「観察」とは“目でよく見る”ことを言いますが、看護での「観察」は見るだけではなく、その他の方法も使って人を理解していくことを言います。看護での五感を使った観察について、聴診器や自分の手を用いながら実際に体験してみましょう。		
B-19		講師 立川 美香	1. 自分のコミュニケーションの癖を知ろう！	生徒	目標3
			人間関係を構成する自己と他者について、私たちが自分自身についての理解や意識をどの様にもち、他者をどの様に捉えているのかを、ワークを通して気づき学んでいきます。		
B-20			2. コミュニケーションの能力を深めてみませんか	生徒	目標3
			よりよい人間関係を構築するには、コミュニケーション能力が大切です。コミュニケーションの中でも傾聴や承認の仕方について、グループワークを通して学んでいきます。		
B-21		講師 和氣 さち	健康寿命の延伸って、何をすればいいの？	生徒	
			私達が暮らす山口県ではどのくらい高齢化が進んでいるのでしょうか。2018年の人口推計によると、山口県の高齢化率は33.9%で全国4位。全国より10年早く高齢化が進んでいるといわれています。 高齢化に伴い、「フレイル予防」という言葉を耳にするようになりました。全国各地で高齢化対策として、健康寿命の延伸を目指し、地域で様々な活動がされています。フレイル予防について学び、健康寿命の延伸について一緒に考えてみませんか。		

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
B-22	看護	講師 江口 恵里	1.Happy・Happyの関係になろう	生徒	目標17
			仲間と成長し合うためにホスピタリティマネジメントがあります。ホスピタリティを向上させるための土台は、人間にしか生み出すことができない価値(礼儀、節度、態度、物腰、言葉づかい、ルール、約束事の順守、ポリシー)です。なぜ大切なのか一緒に考えてみましょう。		
B-23		講師 江口 恵里	2.認知症の世界	生徒	目標11
			「認知症高齢者の体験」「ケア提供者の現実世界」をロールプレイを通してどうして???を体験してみます。きっと認知症への理解が深まります。		
B-24		助教 梁元 陽子	1.医療現場における多文化共生	生徒	目標10
			山口県の外国人住民数は15,873人(2021年12月末)となり、2014年の同統計(13,219人)と比較すると、7年間で約20%増加しています。県民の1.2%が外国人となりました。スーパーなどでもよく観光客ではない外国の方を見かけることが多くなってきています。医療の現場でも外国の方が患者として入院されたり、看護師や介護士として働いているなどあります。異なる文化背景を持つ人たちを看護する、また、一緒に働くということは、どんなことなのか、一緒に考えてみましょう。		
B-25			2.ジェンダー平等について学ぼう 2022年のジェンダーギャップ指数の順位は146か国中116位でした。同じ東アジアの国である韓国や中国より低い順位です。この結果をふまえて日本の、世界のジェンダー格差について考えていきましょう。 まずは、① 日本のジェンダー格差について議論していきましょう。次に ② ジェンダーとは何か、女らしさ、男らしさ、女性役割、男性役割とは何かを考えていきましょう。	生徒	目標5
B-26		助教 宮本 心貴子	性感染症		
			近年、梅毒が増加しているニュースがあります。また、若い世代で多いのがクラミジアの感染です。性感染症は、自覚がなく感染していることも多く、不妊の原因や、重篤な場合は胎児への影響もあります。性感染症の知識を持ち、感染予防に努めることは、今の、また将来への自分の健康に関係します。性感染症について一緒に考えてみましょう。		

宇部フロンティア大学短期大学部

出前講義

テーマ一覧

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
C-1	保育	教授 近藤 鉄浩	1. 知っておきたい子どもの権利 保育の世界は子どもを大切にする世界。子どもを大切にするとは、子どもの人としての権利を尊重することです。 子どもの権利というと「権利というのは、義務を果たしてからでないと主張できない」「子どもに権利なんて認めれば、わがままのやりたい放題になってしまう」といった大人の声が出てきます。私たちの社会は子どもの権利について否定的にとらえる面が強い社会です。 そんな社会にいるからこそ、国連が定めた「子どもの権利条約」にはどのようなことが書かれているか、子どもの権利を尊重するにはどうすればよいかを学びます。	生徒	目標4 目標16
C-2			2. 障害があるとはどういうことか 障害がある人のことを「障害児」「障害者」と呼びますが、そもそも「障害」とは何を指すのでしょうか。このことは障害のある人にとって生きやすい社会をつくる上でとても大事なポイントです。 障害のある人もない人も共に生きる「共生社会」を目指すために、障害とは何かを考えてみましょう。	生徒	目標4 目標10
C-3		教授 伊藤 一統	1. 「教育」とはなにか 人間社会における「教育」の意義・重要性を説明します。学校教育が整備されてきた歴史的経緯を振り返りながら、「教育」という営みはどのようなものか、どのような機能をもっているのかといったことについて概説します。さらに、情報化など高度化・複雑化する社会、また生涯学習社会の実現を目指す中であって、「教育」が抱える新たな課題や今後の役割などについて考えます。	生徒	
C-4			2. 大学はどんなところかー大学での学びと生活の実際ー 中等教育終了後の世界はどのようなものかということの理解を促し、人生プランの一助とすることを目的とします。高等教育機関というものについて、制度的・歴史的側面をふまえ解説します。さらに現代的な課題と期待される役割について説明します。正しい理解を促し、その中での「学習者」の在り方にふれたいと思います。	生徒	
C-5			3. ボランティア、NPOのはなし～“わたしたち”が担うまちづくり～ 近年、我が国でも提唱される市民社会の形成にむけた非営利活動の促進の背景と現状について概説します。様々な行き詰まりをみせる現代社会にあって、どうすればすみよい街をつくり、維持できるのか。近年の公共政策における市民活動重視の方針の概要を説明し、市民活動の実践例を紹介しながら、ボランティア、そしてNPOなどのボランタリーセクターが力を持つ「新たな公共」の形について解説します。	生徒	
C-6		教授 弘中 陽子	いきいき、わくわく運動遊び！ 思いっきり体を動かして遊んでいますか？本来、子どもは体を動かすことがとても好きです。のびのびと、自由に、主体的に体を動かすことで、運動能力や技能の発達、体力の向上や人とのつながりといった社会性の向上等につながってゆきます。本講義は、子ども達にとっての運動遊びの必要性や効果、そして支援の方法について、運動遊びの実践を通して考えていきます。まずは、自分自身の心と体で、体を動かす楽しさや心地よさを感じる、気づくところから始めてみましょう。	生徒	目標3

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
C-7	保 育	准教授 原井 輝明	1.上手い下手ではない 絵画の魅力	生徒	
			絵を描くのが苦手だと言うことをよく聞きます。見たものをそのまま写し取ることが上手いとされていて、見た通りに描けないから苦手と感じているのかもしれませんが。見た通りに描くことが絵画ではありません。絵肌と云う言葉がありますが、絵の表情を作ることによって生み出される技法の一つです。簡単な技法を使って楽しい絵づくりを体験しましょう。		
C-8		准教授 原井 輝明	2.五感を使って、 感性を豊かにしよう！	生徒	目標3
			日常生活において現代人は、8割以上を視覚から得ていると言われていいます。と言うことは、視覚に障害のある方は、視覚以外の五感を使って世界を認識しています。視覚以外の感覚器官を使って認識する機会を体験し、障害のある方の置かれている状況を理解すると同時に、普段十分に使っていない器官を使うことで、感性を豊かにしましょう。		
C-9		准教授 重村 美帆	1.「 保育 」ってなあに	生徒	目標3 目標4
			「保育」についてみなさんが持っているイメージはどのようなものでしょうか。保育のキーワードは、「楽しい」です。 子どもたちが自ら、楽しい、やりたいと感じるができる保育づくりには、教育的な側面と養護的な側面が隠されています。ある子どもたちの一場面を事例に、多面的に物事を観察し、考察するおもしろさを学んでみましょう。		
C-10			2. 子どもと絵本の世界	生徒	目標4
			幼い頃に、お父さん、お母さんや先生から絵本を読んでもらった経験はあるでしょうか。 子どもは、絵本が大好きです。それは、一冊一冊のお話の中に、ワクワクする世界が待っているからです。 たくさんの絵本に出合える子どもは、言葉やイメージをどんどん蓄え、豊かな心としなやかに生きる力の源を育んでいきます。 絵本の読み聞かせを通して、過去、現在、そして未来の自分像への展望を考察してみましょう。		
C-11			3. 実習の心構え	生徒	
			保育現場(保育所や幼稚園)で実際に子どもや保育者と出会い、色々なことを感じたり、考えたりすることはとても大切な経験です。この経験をより良いものにするためには、いくつかの心構えが必要となります。「子どもたちがケンカをした時はどうしたらいいの?」「忙しそうなお先生に声をかけるタイミングはいつなの?」といった素朴な疑問を解決します。		
C-12			4. 保育者を目指すために今すべきこと	生徒	目標3 目標4
			保育者を目指すために必要なこととは何でしょうか。「子どもが好き」「ピアノが上手」「遊びの名人」等、みなさんが考える条件が備わっていないと保育者にはなれないのでしょうか。 保育者として必要な資質にはいくつかありますが、その中でも一番大切なのは「責任」と「覚悟」だと考えています。みなさんの考える保育者像を通して、今後の「働く自分」について見つめてみませんか。		
C-13			5. 子どもとあそび	生徒	目標4
			乳幼児期の子どもにとってあそびは「学び」です。手あそびや折り紙、製作あそび等を実際に体験しながら、それらを通して感じたこと、気づいたことについて考えていきます。 なぜ楽しいと感じたのか、どうして面白いと思ったのか、そのなぜ、どうしてにこそ「あそび」が「学び」であるというヒントが隠されています。子どもになりきってあそびながら、子どもへの理解を深めてみましょう。		

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
C-14	保 育	准教授 久光 明美	歌い継ぎたい童謡・唱歌	生徒	
			電子音であふれている現在、子どもたちの音楽とはどんな存在なのでしょう か？音楽とは歌であるといわれます。歌は声により、声は心につながっている のです。童謡・唱歌を通して人間らしい心の歌を学び、歌いましょう。そして未 来の子どもたちに心のよりどころとして、歌い継ぎたいものです。		
C-15	保 育	講師 甘 麻乃	自分を知る	生徒	
			生まれてから死ぬまでずっと付き合い続けていく自分。自分のことは自分が 一番わかっているとよく言われますが、自分のことだからこそよくわからない部 分も多いと思います。自分を知ることによって、自身がどのように周りの人・モノ を見ているのかに気づくことや、自分のいろいろな面に気づき自分を伸ばすこ とにつながります。本講義では、いくつかのワークを通して、“自分”について知 るきっかけをつくります。		

宇部フロンティア大学短期大学部 出前講義 テーマ一覧

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
D-1	食物栄養	教授 城野 世津子	生きるための食とは？	生徒	
			生きるために私たちのからだは何を必要としているのでしょうか。ヒトが生きていくための栄養とその役割、日常生活において無意識のうちに繰り返されている食行為の流れを生理的側面、栄養的側面、文化・社会的側面との関連を踏まえながら、「生きるための食」について考えてみたいと思います。		
D-2		教授 石丸 隆行	1. たんぱく質の不思議	生徒	
			たんぱく質は生体に必須な栄養です。一方、産業的にも酵素などとても重要な働きをしています。しかし、体の中で作られたたんぱく質に異常があるとアルツハイマー病のような重篤な病気を引き起こすことなども知られています。そんなたんぱく質のお話をしたいと思います。		
D-3			2. 水や食の安全性とは？	生徒	目標2 目標3 目標6 目標15
			普段飲んでいる水や食べ物は安全と言われています。ではなぜ安全なのでしょう。その安全とは何かについて学んでみませんか。また、近年注目されている昆虫食はなぜ注目されているのか知っているのでしょうか。その背景や理由も学んでみましょう。		
D-4		教授 田尾 郁恵	間食(おやつ)の適正な量や種類を知ろう！	生徒	
			試験勉強中に小腹が空いたときに、何を食べていますか？集中したい時は空腹が一番？！おやつは太るから食べてない人もいるとは思いますが。必要な栄養素を補う目的での間食もあります。そんな間食(おやつ)の話を聞いてみませんか？		
D-5		准教授 山下 晋平	1. 食事と運動 ―Let’s カロリーチェック!―	生徒	
			ダイエットに興味がある人、体を大きくしたいと思っている運動部の人等、カロリーと聞くと食事のことばかり考えてしまいませんか？食事はもちろん運動も大事です。運動や日頃の生活で消費するカロリーを知ること自分にあったダイエットや食事を考えてみませんか？ 食べるから元気がでて動けるのか…動いてお腹が減るから食べるのか…。どちらが先なのかはわからないくらい、運動と食事は密接です。食事も運動も詳しくなりましょう！		
			2. スポーツと栄養		
D-6			試合時に、いつも通りの力を発揮出来たら・・・と考えたことはありませんか？食事や栄養は、よいパフォーマンスを発揮するために、重要な要因と考えられています。 そのため試合で、本来の力を発揮するために、普段の食事、試合期の食事などについて学んでみませんか？	生徒	
D-7		准教授 門間 政亮	情報とは	生徒	
			現代、我々は情報と呼ばれるものに囲まれています。しかし、そもそも情報とはいったい何なのか、考えてみたことはありますか？この素朴な疑問から、どのように付き合っていくべきなのかまで、今日に至る情報技術の歴史と、最新のデータを交えながらご紹介します。		

番号	学科	職名・氏名	テーマと内容の例	対象	SDGs
D-8	食物栄養	准教授 田辺 のぶか	食べる機能を知ろう！	生徒	
			私たちは普段、当たり前のように食事を摂取していますが、食べ物を認識して口に取り込み咀嚼(そしゃく)してから胃に至るまで、実はとても複雑なメカニズムで構成されています。食べる＝幸せの入り口、「食べるための機能」について学びましょう。		
D-9	食物栄養	助教 高木 祐花	献立作成をしてみよう！	生徒	
			栄養士の仕事の1つである献立作成。献立作成の基本は、主食、主菜、副菜の料理の組み合わせであり、特定の食品に偏ることなく多様な食品を組み合わせることで栄養素をバランスよく摂る事が出来ます。料理カードを用いて主食、主菜、副菜を組み合わせた1食分の献立作成に取り組んでみましょう！		

手続きの方法について

手続き概要

出前講義には、本学へお越しいただき学内で実施する場合と、ご依頼いただいた高校内で実施する場合とがあります。また複数の講義を並行して実施することや、社会見学の一環としてお引き受けすることもあります。

高校様の出前講義を取り込んだ様々な総合的教育のご予定とご要望に対して、本学では可能な限り柔軟に対処し、お応えできる体制を整えています。

1. 出前講義申し込み手順

出前講義をご希望の高等学校は、次の要領で申し込みください。

①申し込み受付 出前講義申込用紙を、FAXまたはEメールにてお送りください。
申込用紙が届き次第、速やかに教員の都合等の調整をさせていただきます。
なお、ご希望される講師の都合が合わない場合がございますので、可能な限り希望講義（第1～3希望）と希望日時（第1～3希望）の記載をお願いいたします。

↓
※実施1ヶ月前までにお申し込みください（1ヶ月過ぎても受け付ける場合があります）
※出前講義申込用紙は、本紙コピーまたは本学ホームページからダウンロードしてください
※利用可能な機材があれば、○印をお願いします
※講演会等の授業の一環を目的としない場合の依頼については総務課まで（0836-38-0500）

②派遣講師決定 申し込みのあった高校のご要望にそえるよう、担当講師と相談・調整を行ない、Eメールまたは電話にてご連絡をいたします。

↓
※講師の都合により、第1希望講義以外の第2・3希望講義となる場合があります

③派遣依頼書提出 講師内定次第、本学の学長宛に講師派遣依頼文書をお送りください。

↓
※様式は任意ですが、派遣依頼用紙例を参考に作成ください
※依頼文書は、依頼講師宛ではなく学長宛をお願いします

④詳細打ち合せ 講師決定後、必要に応じて講師と高校担当者と直接打ち合せをさせていただきます。

2. 費用

山口県内での出前講義実施に関する費用（旅費・謝金等）は無料です。
山口県外での実施については、個別ご相談させていただきます。

3. お問い合わせ先

〒755-0805 宇部市文京台二丁目1番1号
TEL 0836-38-0511
FAX 0836-38-0600
E-mail: info@frontier-ujp
（件名に「出前講義申し込み」とお書きください。）

受付時間 平日9時～17時

【担当 入試広報課】

出前講義申込用紙(FAX番号:0836-38-0600)

申込日:令和 年 月 日

学 校 名					
担当者氏名					
連絡先	住所	〒			
	TEL			FAX	
	E-mail				
希望講義	希望順位	講義番号 (各学科の頁参照)	SDGs目標番号 (※)下記参照	講師名	
	1	—			
	2	—			
	3	—			
	(※)SDGsの目標に関連する内容を希望する場合は、各学科頁の対応可能目標番号をご確認のうえ、お書きください				
具体的な内容のご希望は備考にお書きください。 (※ご要望にお応えできない場合もあります)					
希望日時	第 1 希望		第 2 希望		第 3 希望
	月 日 () [時 分～ 時 分]		月 日 () [時 分～ 時 分]		月 日 () [時 分～ 時 分]
受講対象者 (受講対象の学年と人数を記入)		受講対象者： [学年 人]			
使用会場 (講義にて使用する教室等を記入)					
利用可能な機材 (利用可能なものに○印)		パソコン ・ プロジェクター ・ スクリーン ・ マイク			
費用負担		旅費	有 ・ 無	謝 金	有 ・ 無
備考 (講義の時間の長さや講義形式、内容など、ご希望を自由にお書きください。)					

※メールにてご提出の場合は、申込用紙を本学HPよりダウンロードしてご利用ください。(E-mail:info@frontier-u.jp)

(派遣依頼様式例)

令和 年 月 日

宇部フロンティア大学 学長 様
宇部フロンティア大学短期大学部

高等学校名

校 長 名

㊟

講師の派遣について（依頼）

標記について、下記のとおり、本校への出前講義の講師を依頼したいので、
よろしくお願いいたします。

記

- | | | |
|---|------------|--|
| 1 | 日 時 | 令和 年 月 日 () 時 分から 時 分 |
| 2 | 場 所 | 高校名および会場（教室等） |
| 3 | テーマ
講師名 | 冊子のテーマタイトル
講 師 名 |
| 4 | 対 象 | 第 学年 名 |
| 5 | 担当者 | 当日運営のご担当者のお名前と連絡先 |
| 6 | その他 | |

(こちらは一例ですので、各学校様の様式において作成いただいても結構です)

(こちらの例文は、本学ホームページよりダウンロードできます)